

「斜視・弱視に関する後ろ向き包括的研究」へのご協力のお願い

—平成14年4月1日～平成2730年68月3031日に当科で斜視・弱視の治療を受けられた方へ—

研究機関名	岡山大学病院		
責任研究者	岡山大学病院 眼科 助教	濱崎	一郎
分担研究者	岡山大学医学部 眼科学 客員研究員	河野	玲華
	岡山大学病院 眼科 医師	柴田	貴世
	岡山大学医学部 客員研究員	長谷部	佳世子
	岡山大学岡山大学大学院医歯薬学総合研究科		
	機能再生・再建科学専攻 生体機能再生・再建学講座		
	眼科学分野 大学院生	清水	壯洋
	岡山大学岡山大学大学院医歯薬学総合研究科		
	機能再生・再建科学専攻 生体機能再生・再建学講座		
	眼科学分野 大学院生	森澤	伸

1. 研究の意義と目的

当院での過去約15年間における斜視・弱視来院患者数は年間約2500件あり、斜視の手術件数は年間約200件です。現在、過去の臨床データから斜視・弱視に関係した治療や病態に関しての評価が十分に行われているといえません。今後の医療に役に立てるため、過去の臨床データを解析する必要があります。

2. 研究の方法

1) 研究対象：

平成14年4月1日～平成~~27~~30年~~6~~8月~~30~~31日に岡山大学病院・岡山済生会総合病院・井原市立井原市民病院・河野眼科で斜視・弱視の治療を受けられた患者さま

2) 調査期間：

平成26年9月1日～平成~~29~~32年3月31日まで

3) 研究方法：

平成14年4月1日～平成~~27~~30年~~6~~8月~~30~~31日までの間に斜視・弱視診察・治療を受けた患者さまを対象として、臨床で得られた斜視・弱視に関係する所見、および施行された手術内容等の解析および評価を行い、今後の診断・治療に役立つ情報を抽出し、研究をします。

4) 調査票等：

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、患者さまの個人情報は削除し匿名化し個人情報などが漏洩しないように、写真・画像については個人が特定できないように、プライバシーの保護には細心の注意を払います。

・年齢、性別、来院日、斜視の種類、視力、屈折値、眼軸帳、近見眼位、遠見眼位、眼球運動、両眼視、立体視、眼球運動・眼位写真、MRI、CTなどの画像検査、手術日、手術記録

5) 情報の保護：

調査情報は岡山大学病院内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で保護されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。本研究のデータは研究終了後に他の研究に使用される可能性があるため10年間保管されます。新たな研究に使用する際は、本学倫理委員会の承認後改めて患者さまの同意を得ます。

調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成~~28~~31年3月31日までに下記の連絡先まで

お申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。
ご理解、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 眼科

氏名：濱崎 一郎

電話：086-235-7297 ファックス：086-222-5059